

事業の基礎情報

事業実施地域	富山県内（黒部市：研修会の実施、南砺市：調査データの収集、研修会の実施）
人材育成の対象	地区（地域）住民、中間支援等団体職員、行政職員、交通事業者、民間企業など
人材育成の手法	地域住民と共に地域の移動課題を見える化するワークショップ、その手法を学ぶセミナーの開催、ツール活用体験会
人材育成の内容	地域での合意形成ワークショップの手法、移動課題の見える化、データ活用をスキルと身に付け
想定育成人数	約200名（行政職員30名、中間支援等団体職員50名、地域住民100名、企業20名）※延べ人数

取組の概要

（現状の地域課題と事業目的）

地域における移動課題は、車などの移動手段を持たない高齢者だけの問題ではなく、統廃合による学校のスクールバス、福祉施設の送迎、子供の習い事への家族送迎、公共交通の維持、タクシーの減少など様々な分野で起こっている。このプロジェクトでは、縦割りの事業立案をやめ、地域の移動資源と移動ニーズを一体的に考え、その解決策を考えていく人材「コミュニティ・ドライバー」を育成する。また、研修会を通してデータを活用した「地域移動分析のツール」開発、地域単位での利害関係者との合意形成を図るワークショップを行い「課題整理と課題の見える化」手法を開発する。そして、これらのノウハウとプログラムを全国にコミュニティ・ドライブPJとしての展開を目指す。

（事業の概要）

地域の移動課題に向き合い解決策を導き出し、地域の移動を促進する人材「コミュニティ・ドライバー」の育成を目指し、そのために必要な「コミュニティ・ドライブツール」（データ活用、課題の見える化、地域の合意形成）を開発する。移動課題が顕在化している地方都市の地域をフィールドにして、模擬ではなく実際のデータ収集、住民の声、対話のプロセスを体験しながらプログラムを進める。また、ツールの開発についても研修プログラムで求められるものを検討しながら、最終的にプロトタイプを作成を行う。客観的なデータと多様で主観的な住民目線のニーズを対話により、合意形成を図りながら地域における移動課題の解決につなげていくことのできる人材を育てる。

取組の詳細

（事業により見込まれる効果）

・地域全体の移動リソースの効率化、移動ニーズ集約によって移動に関する仕事を集約化することで、地域内に新たな仕事と雇用を生み出すことができる。外の人材の力だけに頼らず、課題解決を図る地域での人材を育成することにフォーカスし、主体性を地域（住民、企業、行政、団体等）に高める。「自分たちのまちは自分たちで良くしていく」というマインドを醸成することができ、そうなることによって生まれ事業は継続的に進めていくことができる。

（事業実施手順・スケジュール）

【コミュニティ・ドライブ人材育成研修】全7回（パッケージプログラムの開発）

- ①移動分析WS（体験）
- ②移動課題の見える化WS（１）（体験） 地域単位（ミクロレベル）
- ③移動課題の見える化WS（２）（体験） 移動に関わるヒト、組織（マクロレベル）
- ④移動をデータで見て考える研修（セミナー）
- ⑤移動課題を整理して考える 図解活用研修（セミナー）
- ⑥「地域の移動を考えるWS」ツール活用と地域合意形成（実践セミナー）
- ⑦コミュニティ・ドライブ発表会&キックオフ（普及啓発・発展）

【地域移動分析・シミュレーションの開発】（ツール開発）

- ・地域（小学校区から中学校区単位規模）内全体の移動リソース力分析
- ・人口シミュレーションによる移動ニーズの変化分析

※研修を進めていく中で必要とされるものを開発していく予定

【見える化・地域合意形成WSの開発】（ツール開発）

・地域（ミクロ）での移動課題の見える化WS

移動分野に関わる人や組織（マクロ）での移動課題の見える化WS

・地域移動課題の構造を図解した分かりやすいマップ作成

(補助事業実施後の予定)

どのような事業においても、そもそもの課題整理と合意形成はもっと重要であり、コミュニティ・ドライブプログラムを実施することによって、初期にその部分を整えることができるものは、全国の移動課題解決に取り組む地域にとって必要とされるものになる。この事業でプログラムをパッケージモデルとして開発し、SMARTふくしラボが中心となり、開発に関わる企業や団体とも連携し、全国へ普及させていくことができる。「コミュニティ・ドライブ（CD）」プロジェクトを全国展開する。CDを実装し、地域内での移動リソースとニーズを集約し運行する「クロス・モビリティ・カンパニー（CMC）」の実証実験を目指す。併せて、将来的な「ヒト」「モノ」「コト」を混載した移動、「インフラ」、「サービス」の移動などの可能性について調査研究と実証実験を行う。

Community Driverプロジェクト想定スケジュール																
	2023年度			2024年度上期				2024年度下期				2025年度				
	2月	3月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
共創MaaS実証PJ(モビリティ人材育成事業)			書類作成 計画及び予算	公募申請(4/5×切 内示決定後、交付申請書提出 各社見積書提出・計画詳細まとめ				月次進捗報告書提出(計画進捗及び予算執行状況) 視察及びヒアリングあり					1月末事業費、支払完了			
							決定予定	共創モデル実証プロジェクト実施期間(7月〜2月)								
(1)地域移動分析BIツールの開発						仕様まとめ システム確定										事業化
①ワークショップの開催(ツール開発に向けた地域調査)								① WS準備 第1回WS 材料集め データ、調査		WS準備 ③ 第2回WS WS準備		⑤ WS準備 まとめWS				
②ツール開発								ツール開発			ツール発表	ツール完成				
③発表・報告会										報告会準備	中間報告会	報告会準備	最終報告会 1/16/17,18			
(2)見える化・地域合意形成WSツールの開発						アピア 内容詰め										事業化
①ワークショップの開催(移動課題の見える化)							WS準備 ② 第1回WS 7/25,26,27			WS準備 ④ 第2回WS WS準備		⑤ WS準備 まとめWS 1/16/17,18				
②ツール開発								図解作成			図解発表	図解完成				
③発表・報告会										報告会準備	中間報告会		最終報告会 1/16/17,18			
④その他								イベント及びWSの開催 ミクロ(地域)とマクロ(業界)で検討								
3)コミュニティ・ドライブプログラム開発							定例MTG(月1回)		プログラム化 他地域展開、PR手法							事業化
①パッケージ開発((1)、(2)を含むコミュニティ・ドライブの展開)								開発会議 7/25,26,27			開発会議 11/26,27,28		最終発表(4/17) 2/14,15 ⑥PYNTイベント			
③セミナー開催							研修準備 セミナー 7/25,26,27 ①ツールWS(体験) ②見える化WS(体験)			研修準備 セミナー 11/26,27,28 ③ツール活用セミナー ④見える化WSセミナー			1/16/17,18 ⑤人材育成セミナー			
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	